西部版

地域の催しは浜松支局へ
☎053(453)0908

9～10月に発注

浜松市 佐久間保健センターの改修

浜松市は、佐久間協働センター（天竜区佐久間町佐久間429ノ1）内にある行政機能を佐久間保健センター＝写真＝（佐久間町中部18ノ11）内に移転するため、9月から10月に改修工事を制限付き一般競争入札で発注する。

移転先となる佐久間保健センターは、市社会福祉協議会の佐久間事務所などが入る地域福祉の拠点施設。規模は鉄筋コンクリート造2階建て延べ1370平方㍍。1998年に建設した。工事は、間仕切り設置などの内装改修を行う。2017年4月の供用開始を目指す。

設計は河合晴夫一級建築士事務所が担当した。

現在、市民窓口サービスなどを行っている佐久間協働センターは、市民文化ホールなどを併設した複合施設。規模は鉄骨鉄筋コンクリート造4階建て延べ8798平方㍍。96年に建設した。1階の行政機能以外は、JA遠州中央などの企業に貸し出している。移転後の空きスペースは、地域住民の意見を聞きながら活性化につながる有効な方法を検討していく方針でいる。

新清掃工場

実施方針など協議

浜松市 きょうPFI専門委

浜松市は、天竜区青谷地内に計画する新清掃工場についてPFI方式を視野に整備・運営手法を検討しており、きょう24日に有識者の専門的知見を生かすためPFI専門委員会を開く。委員会では、施設の整備・運営について公募した見積もり調査などの報告をするほか、実施方針について協議する意向だ。

市は、3月に参入意向の確認や概算事業費の把握、ごみ処理施設の整備・運営に対する意見徴集などを目的とした見積もりを公募。ヒアリングを経て6月に取りまとめた。11月に公表予定の実施方針作成に向けた参考資料とする方針。今回の委員会での協議を踏まえ、設計・施工・運営を委ねる事業者の公募に向けた仕様書の作成を進め、2017年4月に公募を開始。審査などを経て17年10月にも落札者を決める考えだ。

見積もり調査や仕様書の作成、事業者選定には、PFIアドバイザリー業務を担当するエイト日本技術開発静岡事務所（静岡市葵区）が関わる。

都田浄水場で掻寄機修繕を実施

企業局西部・9月ごろ工事発注

静岡県企業局西部事務所は、遠州水道都田浄水場（浜松市北区都田9436）内の濃縮槽掻寄（かきよせ）機の修繕を計画しており、工事を9月ごろ発注する。

4池の濃縮槽をかき混ぜるために設置している掻寄（かきよせ）機の羽根部分を制御する減速機4台を交換する。羽根の回転に使用するモーターの容量は400㍗、0・75㌔㍗。濃縮槽の規模は約17㍍四方。工期は6カ月程度を見込む。

湖西市

パスコで実施設計

三ツ谷1号幹線管渠など

湖西市は、公共下水道の三ツ谷1号幹線管渠とあけぼの地区枝線管渠築造を計画しており、実施設計をパスコ静岡支店（静岡市駿河区）に委託した。納期は2017年2月10日を予定。工事は、いずれも17年度以降に進める計画だ。

三ツ谷1号幹線管渠は、国道301号の鷲津東町交差点から清源坂交差点までの延長740㍍が対象。

この区間は丘陵地のため、管渠を開削工で敷設する場合はポンプの設置が必要となるが、推進工の場合は自然流下で対応できる見込み。今回の設計で管材や口径を検討し、維持費も含めた経済性比較を通して敷設工法を決める。

あけぼの地区枝線管渠は、新居町中之郷の国道301号西側が対象。20㌶の面整備を行う計画でおり、実施設計で管材や敷設場所など詳細を固める。

延長250mを9月に発注

磐田市・小島豊岡幹線の配水管更新

磐田市は、市道小島豊岡幹線で配水管の更新を計画しており、9月に工事を発注する。

規模は延長250㍍、口径は100㍉、管種はダクタイル鋳鉄管。

同幹線の配水管耐震化工事は2013年から継続事業として実施しており、本年度で総延長約2㌔の耐震化が完了する。

工期は4カ月を見込む。施工場所は西平松を中心とする、遠鉄ストア竜洋店南側付近。

掛川市

フジヤマで実施設計

吉岡大塚古墳の周辺整備

17年度以降に工事着手

掛川市は、和田岡古墳群史跡整備の一環として吉岡大塚古墳の周辺整備などを計画しており、実施設計をフジヤマ掛川営業所（掛川市）に委託した。納期は2016年度末。

埴輪（はにわ）や古墳の斜面に積まれた葺石（ふきいし）など古墳の一部を復元するほか、周辺にベンチやトイレ、駐車場などを整備する。

工事は、国の補助金が採択されてから開始する。17年度以降を予定している。

和田岡古墳群は、掛川市西部の和田岡地区にある5世紀前後に築造された古墳群の総称。南北約2・5㌔、東西約1㌔の範囲の中に、前方後円墳4基、円墳16基、方墳3基がある。今回対象となる吉岡大塚古墳は全長55㍍の前方後円墳で、国の史跡に指定されている。

DAIで実施設計

菊川市／中央公民館の特定天井改修計画

菊川市は、中央公民館の特定天井改修を計画しており、実施設計をDAI一級建築士設計事務所（菊川市）に委託した。納期は12月20日。

対象は1階にある多目的ホール（天井面積230平方㍍）とエントランスホール（同86平方㍍）。天井部分の脱落防止として、軽天井やネットの設置を検討している。改修の詳細は設計の中で決める。工事は2017年度に発注する予定でいる。

施設（下平川6225）の規模は鉄筋コンクリート造2階建て延べ1928平方㍍。工芸室や展示室・展示ギャラリー、会議室などがある。

御前崎市

フジヤマに委託

橋梁修繕計画の策定

御前崎市は、市道維持事業として橋梁修繕計画の策定をフジヤマ島田事務所（島田市）に委託した。納期は2017年1月27日。

対象は、市道に架かる273橋。橋長15㍍以上が51橋、橋長15㍍未満が222橋。

業務の中で、緊急に修繕が必要な橋や損傷拡大を防ぐための修繕が必要な橋、軽微な損傷のうちに修繕する橋などに分類し、17年度以降の設計・改修のスケジュールを作成する。

市では、10年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定しており、これを基にさらに詳細な計画を策定する。

オリエンタルコンサルタンツで

湖西市・鷲津駅谷上線拡幅測量設計

湖西市は、都市計画道路鷲津駅谷上線を拡幅するため、測量設計をオリエンタルコンサルタンツ浜松事務所（浜松市中区）に委託した。納期は2017年2月15日を予定している。

拡張の計画区間は、JR東海の鷲津駅南側にある県道豊橋湖西線との交差点から南方向の延長430㍍が対象。既設の幅員約8㍍を両側歩道の16㍍に拡幅する。施工場所は湖西市鷲津。工事着手時期は未定となっている。

地域NEWS

工事用車両に熱中症対策キット常備

秀盛機工浜松支店

建築設備関連の重量物据え付け工事などを手掛ける秀盛機工浜松支店（浜松市東区、小川善嗣支店長）は、工事用車両に熱中症対策キット＝写真＝を常備した。

現場の安全対策の一環として導入を決めたもの。キット内には経口補水液や塩タブレット、急速冷却パックなどが入っている。同支店が保有する主な車両計7台（4㌧クレーン付きトラック、2㌧クレーン付きトラックなど）に常備した。

小川支店長は「暑さが続く中、キットを活用して熱中症を未然に防いでいきたい」と話している。

地域貢献

熊本地震の復興支援で街頭募金活動

松川電気・益城町などに義援金

松川電気（浜松市東区、小澤邦比呂社長）は、熊本地震の復興支援活動として街頭募金活動を実施し＝写真＝、義援金を熊本県の益城町災害対策本部などに届けた。

届け先は益城町災害対策本部と南阿蘇村役場会計課。金額は50万円ずつで、内訳はいずれも街頭募金分が23万0730円ずつ、松川電気分が26万9270円ずつ。

小澤社長は「微力ではあるが被災地復興のために活動した。今後も事業活動を通じて社会に貢献していきたい」と話している。

カーブミラーの清掃奉仕を実施

若杉組と若芽の会・130人が参加

若杉組（掛川市、若杉吉明社長）とNPO法人若芽の会（若杉吉明理事長）はこのほど地域貢献の一環として、カーブミラー清掃の奉仕活動を行った＝写真＝。

従業員や協力業者ら約130人が参加。各班に分かれ、旧大東町と御前崎市内のカーブミラー約2200本を清掃ブラシやガラスクリーナーを使って清掃した。

同社では「カーブミラー・クリーン作戦」と題して毎年奉仕活動を行っている。交通事故を無くし住みやすい社会を築くため、今後も活動を続けていく方針だ。